

■ 2015年 2月号 月1回発行 136号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：桐田 達也 TEL・FAX 03-5443-4110



キャンプシュワブ・ゲート前で米軍警備員に拘束される
沖縄平和運動センター・山城議長（琉球新報より転載）

目	次
止めよう辺野古新基地県民集会	2
憲法と「建国記念日」を考える 2.11 集会	3
沖縄県議団東京報告集会	3
狭山事件再審を求める東京集会	4
福島県民大集会	5
戦争をさせない全国署名	5
活動日誌・当面の日程	6

「止めよう辺野古新基地建設！ 国の横暴・工事強行に抗議する 県民集会」に 2800 名

東京平和運動センターからも 2 名参加

2 月 22 日、標記集会が辺野古の米軍キャンプ・シュワブ前で開催され 2800 名が参加しました。東京からも平和運動センターの代表が、



20 日から現地入りし、連日の行動とともに集会にも参加しました。集会前には、沖縄平和運動センターの山城議長らが米軍に拘束され、集会後、逮捕した名護署を取り囲み抗議しました。

参加報告は次号で掲載します。

2015 年 2 月 23 日

沖縄平和運動センター議長山城博治さんたちの不当逮捕に抗議する

フォーラム平和・人権・環境

共同代表 福山真劫



2 月 22 日午前 9 時すぎ、海兵隊キャンプシュワブ基地第 1 ゲート前で、米軍は、沖縄平和運動セ

ンター議長である山城博治さんほか 1 名を、安保条約に基づく「刑特法」違反容疑で、不当にも身柄を拘束しました。同日午後 2 時すぎには名護警察署にふたりの身柄を移送し、23 日現在もなお不当にも勾留中です。沖縄平和運動センターおよび「止めよう辺野古基地建設実行委員会」の仲間たちは、キャンプシュワブゲート前、そして名護警察署前で「不当逮捕徹底糾弾！」「ふたりを直ちに釈放せよ！」と抗議行動を続けています。

22 日は、午後 1 時からゲート前での県民大集会を開催する予定となっており、その当日に、集会責任者を不当逮捕・勾留することは、集会つぶし、辺野古基地建設阻止の闘いつぶしであることは明白です。民主主義破壊の暴挙であり、絶対に許せません。

拘束時の状況をみると、米軍はゲート前に黄色のラインを引き、その内側が米軍基地であり、ライン内に侵入したと主張しているようですが、そもそもこれは逮捕に該当するような事案ではありません。これまで 231 日にわたって行われてきた連日の抗議行動においては、ラインを少しでも踏み出た場合、その都度、抗議行動責任者がラインの外側に出るように指導してきました。22 日も抗議行動の中で、参加者がラインを踏み越えたので、責任者であった山城さんがラインの外に戻るよう指示し、ライン外へと戻ったところに米軍が介入し、不当にも山城博治さんほか 1 名を拘束、基地内にひきずりこんだのです。平和運動センター・「止めよう辺野古基地建設実行委員会」の側もビデオ等の証拠を確保しており、不当弾圧であることは明白です。

沖縄県民は、69 年にわたり基地撤去をめざして、闘い続けてきました。そして今回の辺野古への新基地建設は、名護の市長選挙、県知事選挙、衆議院選挙と、辺野古への基地建設は許さないという意味を明確にしてきました。それにも関わらず安倍自公政権は反対運動に弾圧を加え、新基地建設を強行しています。沖縄の意思を踏みにじり、民主主義を破壊する安倍の暴走を、私たちは絶対に許すわけにはいきません。こうした安倍政権の暴走に反対する動きは、東京へ、全国へと広がっています。

22 日午後開催された県民大集会は、2800 人の参加者でキャンプシュワブ第 1 ゲート前は埋め尽くされ、「不当逮捕糾弾」「即時釈放」「辺野古への基地建設阻止」「基地はいらない」「米軍は沖縄から出ていけ」との決意が確認されました。私たちも沖縄の“オール沖縄”の闘いと連動して、東京で、全国で、ともに闘いましょう。

一面トップで
釈放を報じ、社説・総合面・社会面で大々的に
取扱う「琉球新報」



**憲法と『建国記念の日』を考える
2.11集会－安倍政権の暴走とナショナリズム－** 300人参加
2月11日 日本教育会館

平和フォーラムは例年2月11日、戦前の「紀元節」を「建国記念の日」としていることに異議を唱え、集会を行っています。戦後の日本は、自民党内閣のもとで、東アジアとの関係、とくに歴史認識については繰り返し問題を引き起こし

てきました。とりわけ現在、長期政権化の様相が強まり、改憲にまで着手を言及しはじめた安倍首相は、日本の戦争責任をはじめ歴史認識について、中



国・韓国などの近隣アジア諸国はもとより、欧米諸国からもその姿勢に対する強い批判を受けています。しかし、国内世論は、政権への強い批判の一方で、偏狭なナショナリズムに流れる動きも看過できないものとなっています。これを踏まえて、「憲法と『建国記念の日』を考える2.11集会－安倍政権の暴走とナショナリズム－」を名称に、会場の日本教育会館に300人が参加して学習集会を行いました。

福山真劫代表の主催者あいさつにつづいて、「若者とナショナリズム－『無邪気』なJ国家主義の深層」と題して横浜市立大学名誉教授の中西新太郎さんの講演、子どもたちに渡すな!あぶない教科書大阪の会の相可文代さんの「『戦争をする国』の『戦争できる国民づくり』を許してはなりません!－2015年夏、育鵬社・自由社教科書の採択を阻止するために－」との提起を受け、最後に藤本泰成事務局長のまとめと閉会あいさつで終了しました。(平和フォーラム報告)

**辺野古新基地建設を許さない！
沖縄県議団が東京で報告集会**

2015年1月15日

「止めよう！辺野古新基地建設」－沖縄県議会議員代表団12名が1月15日、県議会で可決された辺野古新基地建設に反対する意見書を持って、米国大使館を含め関係省庁に要請するために上京しました。昨年11月の沖縄県知事選で、翁長雄志さんが仲井眞弘多前知事に10万以上の得票差をつけて当選。このゆるぎない沖縄の民意を携えての要請でしたが、首相官邸や防衛、外務省は誠意ある対応を見せませんでした。

15日夜、連合会館で開催された同議員団の報告集会には、会場をあふれる450名の市民や労働者が参加。知事選に続いての衆議院総選挙においてオール沖縄で闘い勝利した小選挙区選出の全議員、また超党派の国会議員で構成される沖縄等米軍基地問題議員懇談会の近藤昭一会長（衆院議員）らがあいさつ。沖縄からの報告では、12名の県議会の各会派から、仲村みおさん、渡久地修さん、比嘉京子さん、吉田勝廣さんらが、辺野古埋め立ての問題点、沖縄経済の発展を阻害している米軍基地、日米地位協定の不平等性を訴え、オール沖縄がいかにして実現できたかなどの報告がありました。

集会の最後には、県会議員上京団、国会議員、参加者全員が手をつなぎあって、万歳三唱をして幅広いつながりで辺野古新基



地建設を阻止する決意を固めました。(平和フォーラム報告)

狭山事件の再審を求める東京集会に 288 名が参加 2. 19 田町交通ビル

狭山東京実行委員会は、2月19日田町交通ビル大ホールで、事件発生から今年52年を迎える中、標記集会を開催しました。

冒頭、主催者を代表して佐藤光夫議長が、再審への道を開かせる決意を述べ、講演では狭山闘争本部の安田聡さんが、証拠リストが提出された中で、大詰めを迎えた再審実現の状況を報告しました。

石川さん夫妻も登壇し、再審実現まで決してあきらめず闘う決意を述べました。つづいて、



全水道東水労、狭山・人権・葛飾ネット、東京同宗連の代表が連帯表明、部落解放同盟都連の長谷川委員長がまとめ、全体の団結ガンバローで閉会しました。

狭山事件の再審開始を求める決議

狭山事件は、事件発生から今年5月で52年になる。被差別部落への差別意識と偏見が最大限に利用され、「犯人」に仕立て上げられた石川一雄さんは、半世紀以上も無実を訴え続けている。

2009年12月、東京高等裁判所門野裁判長が東京高検に対して正式に証拠開示を勧告し、本年2月までに21回の三者協議が行われ、164点の証拠が開示され139点におよぶ新証拠が提出されている。第21回三者協議前日の1月22日、供述調書や捜査報告書などを除く、東京高検にあるすべての証拠物の領置票（証拠物の名前と数量が記載されている一覧表）が開示された。「証拠物の領置票（証拠リスト）」の開示は、徹底した証拠開示のためには絶対に必要なものであり、「確定判決」の崩壊を加速させる大きな一歩である。

しかし、「証拠物の領置票」は、「すべての証拠物のリスト」ではない。また、証拠物そのものがすべて開示されたわけでもない。「血痕

反応検査報告書」や「死体埋没に使われたとされるスcoop」の指紋検査報告書、「犯行現場」を特定するための捜査書類や万年筆の置き場所の図面など、検察官は、肝心の証拠については全て「不見当」として開示せず、「開示の必要性はない」との意見書まで提出し、頑なに開示に抵抗している。

新証拠の発見を要件とする再審制度の趣旨からも、検察官がことさら隠すことは正義に反するものである。再審請求において検察官手持ちの未提出資料の開示が必要不可欠であることは、この間相次いだ冤罪事件、足利事件・布川事件・東電社員殺害事件・袴田事件等々の再審開始決定を見れば明らかである。河合裁判長には、検察官に対し「全証拠リスト」の開示、未開示の捜査資料の開示勧告を行うことを強く訴える。

さらに、相次ぐ冤罪の再審無罪判決の教訓は、証拠開示とともに鑑定人尋問などの事実調べが不可欠だということである。河合裁判長は、再審制度の理念と相次ぐ冤罪の教訓をふまえ証拠開示を積極的にすすめ、証人尋問や鑑定人尋問などの事実調べを即刻行うべきである。

寺尾差別判決から40年が経過し、事件発生から52年を迎えようとしている今、「確定判決」は崩壊の一途であり、間違いなく、狭山第三次再審をめぐる闘いは大詰めの段階を迎えている。

24歳で獄につながれた石川一雄さんは76歳になった。これ以上の時間の経過は許されない。「無辜の救済」という再審制度の理念、「疑わしきは被告人の利益に」との刑事裁判の鉄則にもとづいて、裁判所は国民誰もが納得する公平・公正な審理を行うことを強く求める。

2015年、私たちは本集会を闘いの起点とし、徹底した証拠開示と事実調べ即刻実施を求め、再審勝利・完全無罪に向けて、東京高裁に「決断」を迫る闘いを展開していこう。

以上、決議する。

2015年2月19日

狭山事件の再審を求める東京集会

**2015 原発のない福島を！
県民大集会に結集しよう！**
3.14（土）12：30～ 福島市

プログラム

- 12:30 オープニング
「アトラクション」 山木屋太鼓
- 13:15 県民大集会開始：黙祷
開会あいさつ
実行委員長(主催者)あいさつ
連帯のあいさつ 落合恵子さん
後援自治体、メッセージ紹介
トークリレー
県民からの訴え 呼びかけ人他
- 14:45 閉会あいさつ

会場

福島県福島市佐原字神事場 1

県営あづま総合体育館

交通のご案内

* 電車利用：

- ・東北新幹線福島駅東口 → 路線バス「佐原経由四季の里」行、あづま総合体育館」下車
(詳細は[福島交通HP](#))
- ・東北新幹線福島駅西口 → 主催者手配「シャトルバス」、またはタクシー



戦争をさせない全国署名

(2015 年版) を
成功させよう！

昨年、安倍政権は「戦争のできる国」をめざす「集団的自衛権」行使容認の閣議決定を強行し、年末には大義のない解散総選挙において、国会における安定政権化を進めました。1月26日開会した通常国会では、いよいよその法整備化が狙われています。5月連休明けに法案提出とも伝えられています。

「戦争をさせない東京 1000 人委員会」は昨年五月に結成後、署名や諸集会を展開してきました。

本年に入り、いよいよ国会を場とする闘いが開始します。圧倒的多数を有する与党に対し、地域からの国民的闘いが重要となっています。

平和フォーラムや「戦争をさせない 1000 人委員会」の提起する諸行動に積極的に取り組むとともに、東京地公労各地協の協力のもと、下記により街頭署名行動を計画しました。

「戦争をさせない全国署名」(2015 年版) 街頭宣伝署名行動

ビラ (ポケットティッシュ) 配布と署名活動

- 2月26日(木) 18:00～19:00

田町駅東口

- 3月6日(金) 18:00～19:00

立川駅北口コンコース

- その他

東部地区、西北地区については、4月、5月の実施に向けて調整中。

組織内・地域の取り組み

街頭署名用のティッシュ (終面のカラービラ入り) を若干しています。活用ください。

(東京平和運動センター事務局まで)

個人署名

最終面の署名用紙を活用ください

活動日誌

- 01.15 県民の民意を尊重し、辺野古新基地建設断念を求める沖縄県議上京団1・15連帯集会(18:30連合会館2階大会議室)
- 01.17 オスプレイと米軍機飛行問題全国交流会(14:00連合会館501)
オスプレイの配備と飛行訓練に反対する東日本連絡会(仮称)結成会議(16:00連合会館501)
- 01.20 TPP問題連続学習会(18:30~連合会館)
- 01.25 安倍政権の暴走に反対する1.26国会前行動(18時30分~19時30分)
衆院第二議員会館前
- 01.31 故八木隆次さんを偲ぶ会(14:00~連合会館)
- 02.11 憲法と「建国記念の日」を考える集会(13:30~東京・日本教育会館)
- 02.19 狭山事件の再審を求める東京集会(18:30 田町交通ビルホール)
- 02.22 止めよう辺野古新基地建設! 国の横暴・工事強行に抗議する県民集会(キャンプシュワブゲート前)

今後の日程

- 02.26 東京平和運動センター常任幹事会(16:00 田町交通ビル)
- 02.26 戦争をさせない東京1000人委員会
全国署名行動(18:00 田町駅前)
- 02.26 戦争をさせない1000人委員会学習集会(18:00~東京・衆議員会館)
- 03.01~02 平和フォーラム全国活動者会議(静岡市)
- 03.01 ビキニ・デー集会(18:00~静岡市・県総合社会福祉会館)
- 03.02 久保山愛吉さん墓前祭(13:30~焼津市・弘徳院)
- 03.06 戦争をさせない三多摩1000人委員会
全国署名行動(18:00 立川駅前)
- 03.06 戦後70年・戦争被害のすべて解決を! 大集会(18:30~東京・浅草公会堂)

- 03.07 戦争をさせない1000人委員会緊急学習会「戦争法に備えよ」(14:00~東京・連合会館)
- 03.08 マーチインマーチ
- 03.09 原発再処理問題連続学習会(18:30~東京・連合会館)
- 03.14 原発のない福島を! 福島県民大集会(福島市)
- 03.23 原発再処理問題連続学習会(18:30~東京・連合会館)
- 03.28 つながろうフクシマ! さようなら原発集会(東京・新宿文化センター)
- 04.10 狭山事件の再審を求める三多摩集会(18:30 立川女性総合センター)
- 05.16~18 沖縄平和行進
- 05.3 5.3 憲法集会(13:00~15:30 横浜みなとみらい臨港パーク)

平和といのちと人権を!

5・3 憲法集会

～戦争・原発・貧困・差別を許さない～

私たちは、

「平和」と「いのちの尊厳」を基本に、日本国憲法を守り、生かします

強制的な自衛隊の行使に反対し、戦争のためのすべての施設に反対します

原発廃止を求めます

平等な社会を求め、貧困・格差の是正を求めます

人権をまもり、差別を許さず、多文化共生の社会を求めます

呼びかけ人

青井宗嗣 岡崎雅雄 橋田香代子 石原啓 上野千鶴子 大江健三郎 小山内薫江子 都合高子
橋田聖 香山リカ 古今平藤千代 小堀等 小堀啓一 早乙女勝元 佐高信 澤地久枝 横戸内富雄
田中龍子 島崎敬太郎 今にしし 渡辺予 堀口陽一 三上智恵 山内健弘 山江二郎



日時 2015年 5月3日 13時~15時30分

会場 臨港パーク

観覧券なしとありの場区 観覧券: あせとみらい

お誘い 大江健三郎さん 他・音楽ライブあり

主催 5・3憲法集会実行委員会 TEL: 03-3221-4888 (02/24/25/26)

連絡先 5・3憲法集会実行委員会 TEL: 03-3221-4888 (02/24/25/26)

連絡先 5・3憲法集会実行委員会 TEL: 03-3221-4888 (02/24/25/26)

平和フォーラム TEL: 03-5289-8222

集会開催と新聞広告のためカンパを募っています(1口1000円)

参加費 口振記号番号 00160-7-586990 / 加入者 5・3憲法集会

銀行振込 ゆうちょ銀行 ロータ(ゼロイチキョウ) 国 / 口座番号 019 / 当座預金 / 口座番号: 0586990 / 口座名: 5・3憲法集会



平和な未来を!! 私たちが切り拓こう。

戦争をさせない全国署名〈2015年版〉にご協力をお願いします。



戦争をさせない1000人委員会



70年前、多くの人びとが、恋人を、両親を、愛する人を残して戦場に送られました。

日本は、二度と戦争をしないことを誓ったはずです!

安

倍政権は、憲法違反の閣議決定に基づく日米ガイドライン改定や戦争関連法案提出、沖縄辺野古への基地建設、歴史認識の改ざん、貧困と格差の拡大、原発再稼働、そして憲法改悪へと突き進み、「戦後レジームからの脱却」を掲げつつ、「戦争する国」づくりに向け、大きく踏み出すことが予測されます。

昨年、みなさんをお願いしてきた署名は合計253万9920筆（追加提出分含む）を集めることができました。安倍政権の憲法破壊を阻止するために、新しい「戦争をさせない全国署名」を呼びかけます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

要請項目

- 1 「集団的自衛権」行使容認の閣議決定を撤回してください。
- 2 海外での武力行使は行わず、平和憲法に基づく外交と紛争解決を進めることを明らかにしてください。
- 3 戦争参加を可能にする、いかなる立法や条約・協定の締結も行わないでください。

- ▶ 新規の署名です。昨年中に署名にご協力いただいた方も、署名することができます。
- ▶ 日本にお住まいの方であれば、年齢・国籍を問わず署名できます。
- ▶ 海外在住の外国籍の方については、制度上、首相あてのみ有効となりますので、お手数ですが英語版署名用紙をお使いください。
- ▶ 署名は原則的に自筆をお願いします。ただし、自筆で書けない事情があり、ご本人の承諾があれば、代筆も可能です。
- ▶ 署名用紙はウェブサイト <http://anti-war.info/shomei> からダウンロードできます。

お送り先

戦争をさせない1000人委員会 事務局

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

HP <http://anti-war.info>

Mail info@anti-war.info

TEL 03-3526-2920

FAX 03-3526-2921



インターネットでも署名ができます!

こちらから

<http://goo.gl/j5uRQx>



「集団的自衛権」行使容認の閣議決定の即時撤回を！
戦争をさせない全国署名 **2015年版**

内閣総理大臣 安倍晋三 様
衆議院議長 町村信孝 様
参議院議長 山崎正昭 様

【趣旨】

安倍内閣は、海外で戦争することを可能とする集団的自衛権の行使「憲法の趣旨に沿う」と強弁する閣議決定を強行しました。これは、「国権の発動としての戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と定めた憲法9条を真っ向から否定するものです。

戦後、「集団的自衛権の行使」として世界で行われた武力行使は、ほとんどが大国による勢力圏の維持・確保や資源獲得を目的としたものでした。それは無数の市民に血の犠牲をもたらしながら、平和を創ることはできませんでした。武力で平和はつくれないのです。

安倍内閣は、武器輸出を事実上解禁し、海外での武力行使を前提とした軍事協定をアメリカなどと結び、2015年の通常国会には戦争関連法案を出そうとしています。また、12月14日に行われた第47回総選挙では、自民党と公明党の与党で憲法改正の発議に必要な3分の2を超える議席を獲得しています。

このままでは、日本は戦争する国になり、自衛隊が外国で殺し殺されることになります。また、国内にも戦火が及ぶことになりかねません。私たちは、このような戦争への道を断じて認めることができません。よって、以下の事項を請願します。

【要請項目】

1. 「集団的自衛権」行使容認の閣議決定を撤回してください。
2. 海外での武力行使は行わず、平和憲法に基づく外交と紛争解決を進めることを明らかにしてください。
3. 戦争参加を可能にする、いかなる立法や条約・協定の締結も行わないでください。

請願者

名 前	住 所

呼びかけ団体/送り先	取り扱い団体（空欄でもかまいません）
戦争をさせない1000人委員会 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3階 電話03-3526-2920 mail:info@anti-war.info	